

平成28年度栃木県計画に関する 事後評価

(継続事業分)

令和5 (2023) 年11月
栃木県

事業の実施状況（令和 4（2022）年度の状況）

事業区分 1：地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する事業

事業の区分	1. 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する事業	
事業名	【医療分No. 4】 医療機能分化・連携推進事業	【総事業費】 294,660千円
事業の対象となる医療介護総合確保区域	全区域	
事業の実施主体	病院、有床診療所	
事業の期間	令和 4 年度 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	<p>地域医療構想において必要となる機能区分毎の病床を確保するため、病床の機能転換等を推進する必要がある。</p> <p>アウトカム指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回復期病床 1,725床 (R2.7.1) → 2,175床 (R5.7.1) 	
事業の内容 (当初計画)	地域医療構想において必要とされる病床機能への転換等を推進するため、回復期への機能転換に必要な施設整備費を支援する。	
アウトプット指標 (当初の目標値)	本事業により施設整備を行う施設数：2施設	
アウトプット指標 (達成値)	本事業により施設整備を行った施設数：1施設（令和 4 年度）	
事業の有効性・効率性	<p>事業終了後 1 年以内のアウトカム指標：</p> <p>事業終了後 1 年以内の病床数は、令和 5 年度の病床機能報告が実施されていないため、観察できなかった。</p> <p>なお、代替値として、令和 4 年 7 月 1 日時点の病床数は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回復期病床 1,725床 (R2.7.1) → 1,896床 (R4.7.1) <p>(1) 事業の有効性</p> <p>本事業により、令和 4 年 7 月 1 日時点において、回復期病床数が増加し、地域医療構想の達成に向けて一定程度効果があったが、新型コロナウイルス感染症の影響や地域における回復期病床の充足感等により、目標達成には至らなかった。</p> <p>引き続き、現行の取組を継続し、着実に取組を推進していく。</p> <p>(2) 事業の効率性</p> <p>地域医療構想調整会議において医療機関ごとに事業実施の合意を得ており、真に必要な整備に限定して実施している。</p> <p>また、設備整備に当たって、各医療機関において見積合わせを実施することにより、コストの低下を図っている。</p>	
その他		

事業区分 4 : 医療従事者の確保に関する事業

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	【医療分No. 16】 とちぎ地域医療支援センター事業	【総事業費】 3,500千円
事業の対象となる医療介護総合確保区域	全区域	
事業の実施主体	県（とちぎ地域医療支援センター）、栃木県臨床研修医確保対策委員会	
事業の期間	平成28年度～平成30年度、令和3年度、令和4年度 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	<p>将来の医療需要の変化に対応した医療提供体制を充実させるため、各医療機能に対応できる医師の育成・確保が必要。</p> <p>アウトカム指標：</p> <p>《H28～H30》</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療施設に従事する医師数（人口10万人当たり） 212.8人（H26）→ 233.6人（H30）※H26全国平均 県内病院に勤務する医師数（常勤） 2,881人（H30.4.1）→ 2,941人（H31.4.1） <p>《R3》</p> <ul style="list-style-type: none"> 県内病院に勤務する医師数（常勤）※ R3.4.1→R4.4.1 県全体 3,010人 → 3,050人 <p>[内訳]</p> <ul style="list-style-type: none"> 県北医療圏（医師少数） 367人 → 377人 県西医療圏（医師少数） 146人 → 156人 両毛医療圏（医師少数） 300人 → 310人 宇都宮医療圏（中間） 578人 → 583人 県東医療圏（中間） 85人 → 90人 県南医療圏（医師多数） 1,534人 → 1,534人 <p>※栃木県保健福祉部医療政策課調査</p> <p>《R4》</p> <ul style="list-style-type: none"> 県内病院に勤務する常勤医師数（栃木県調査） 3,129人（R4.4.1）→ 3,208人（R5.4.1） <p>[内訳]</p> <ul style="list-style-type: none"> 県北医療圏（医師少数） 387人→ 406人 県西医療圏（医師少数） 152人→ 160人 両毛医療圏（医師少数） 305人→ 320人 宇都宮医療圏（中間） 615人→ 633人 県東医療圏（中間） 95人→ 98人 県南医療圏（医師多数） 1,575人→ 1,591人 	

事業の内容 (当初計画)	とちぎ地域医療支援センターによる医師確保支援事業 ①とちぎ地域医療支援センター運営事業 ②医師修学資金の貸与 ③無料職業紹介事業 (病院見学助成)
アウトプット指標 (当初の目標値)	令和 4 年度 ・地域枠医師等の養成数 81名
アウトプット指標 (達成値)	令和 4 年度 ・地域枠医師等の養成数 116名
事業の有効性・効率性	<p>事業終了後 1 年以内のアウトカム指標：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内病院に勤務する医師数 (常勤) <p>R4. 4. 1→R5. 4. 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県全体 3, 129人 → 3, 174人 (+45人) <p>〔内訳〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県北医療圏 (医師少数) 387人 → 384人 (-3人) ・県西医療圏 (医師少数) 152人 → 165人 (+13人) ・両毛医療圏 (医師少数) 305人 → 309人 (+4人) ・宇都宮医療圏 (中間) 615人 → 619人 (+4人) ・県東医療圏 (中間) 95人 → 97人 (+2人) ・県南医療圏 (医師多数) 1, 575人 → 1, 600人 (+25人) <p>(1) 事業の有効性 令和 5 年 4 月 1 日時点の県内病院の常勤医師数は、前年から 45 名増加している。 地域医療支援センターが主体となり、県内の大学及び医療機関と連携しながら、医学生から専攻医までキャリアステージに応じた医師確保に関する取組を総合的に実施することにより、医師の確保及び定着に直接的な効果があったものとする。</p> <p>(2) 事業の効率性 地域医療対策協議会の開催を含め、関係団体・機関と連携・協力しながら施策を進めることで、必要かつ効果的な事業に限って実施している。</p>
その他	